

多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

- インフルエンザは流行注意報レベルが継続しております。
- 引き続き、基本的な感染対策（手洗い・消毒・マスク）をこころがけましょう。

保健所からのお知らせ

次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスS®、ハイター®など）での消毒について

感染性胃腸炎について、今週はまだ報告数は多くはありませんが、例年11月以降から報告数が上昇し、2月から3月頃にピークを迎える傾向にあります。

流行期に入る前に、一度消毒の方法を確認し、突然の嘔吐や下痢などの症状に対応する際の参考にさせていただければと思います。

ポイント

便・嘔吐物で汚れた便座や床などの消毒には**0.1%**

物品の消毒は**0.02%**

に薄めて使用しましょう。



消毒液の希釈方法



消毒や処置のあとは必ず手を洗いましょう

		希釈濃度0.02%	希釈濃度0.1%
製品の濃度	1%	50倍 水1ℓに対して原液を20ml	10倍 水1ℓに対して原液を100ml
	5%	250倍 水1ℓに対して原液を4ml	50倍 水1ℓに対して原液を20ml
	6%	300倍 水1ℓに対して原液を3.3ml	60倍 水1ℓに対して原液を17ml
	12%	600倍 水1ℓに対して原液を1.7ml	120倍 水1ℓに対して原液を8.3ml

必要な原液の量を計算するには
 (希釈の基本式) 原液の濃度(%) × 原液の量(ml) = 作りたい濃度(%) × 作りたい量(ml)
 → 作りたい濃度(%) × 作りたい量(ml) を原液の濃度(%) で割る
 例: 5%の製品で0.02%の希釈液を1ℓ作りたい場合 $0.02 \times 1000 \text{ ml} \div 5 = 4 \text{ ml}$ → 原液は4ml必要

※製品の濃度は容器に記載されたものをご確認ください
 記載されていない場合は製造元に確認してください

「消毒液の希釈方法」は、
 画像クリックか二次元コード
 からご確認ください。



メモ

全ての消毒に次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用することは大変なので、感染症の流行状況を見ながら使用する消毒液を選択していきましょう♪

アルコールが効きにくい病原体

- ☐ ノロウイルス
- ☐ ロタウイルス
- ☐ アデノウイルス（咽頭結膜熱など）
- ☐ エンテロウイルス
（手足口病、ヘルパンギーナなど）

注意

- ・次亜塩素酸ナトリウムは希釈後、時間がたつにつれて効果が薄れていきます。
 消毒液はその都度作成し、余ったらその日のうちに廃棄しましょう。
- ・皮ふや粘膜を傷めてしまうので、手指など身体の消毒はしないでください。
- ・噴霧による消毒は、喉や気管支、目を強く刺激して非常に危険ですのでやめましょう。
- ・漂白作用があるので、衣類や布製品などは脱色のおそれがあります。
- ・消毒範囲に金属がある場合は、サビや変色を防ぐため、10分後に水拭きをしましょう。